

第5回市政e－モニターアンケート集計結果

アンケート実施期間 平成23年9月2日～13日

アンケート送信者 203名

(うち着信202名)

回答者数 56名

回答率 27.7%

「広報かまくら」は、毎月1日と15日に発行（1月と5月の15日号はありません）し、ポスティング業者への委託により全ご家庭にお届けしていますが、この「広報かまくら」の紙面について、ご意見を伺いました。

質問1 どの記事をよく読まれますか？（複数回答可）	人数
1 1面・特集記事	36
2 2～3面・施策事業紹介	18
3 4～5面・お知らせ	26
4 6～7面・イベント、講座	29
5 8面・文化芸術関連	18
6 興味ある記事だけを読む	19
7 ほとんど読まない	0
8 全く読まない	0

質問2 どのような内容の記事があれば良いと思いますか？（自由回答）
・イベント、講座がカレンダー形式に一覧できるページ
・市役所の仕事紹介（具体的に興味を引く形で。私たちはこんなことをしています、こんなサービスをしています）という感じで
・市民の方で実名、写真入りで「鎌倉市民で良かったこと」とか、当り前の生活の中から元気の源を提供するコーナーがあれば良い。地域文化を守り、学び、伝承できるようなことをピックアップしても良い。テーマ例えば「鎌倉の世界遺産登録について」を「400字」で掲載するとか・・・知っているようで知らない鎌倉？
・高齢者向けの福祉、保健、生涯学習などの記事が多く、多少退屈に感じるのでも、地域の若者を中心とした取組紹介や、一般の商業イベントの告知などがあると、楽しみながら読めると思います。
・市全体が抱える問題を多角的に
・鎌倉市の意思決定プロセス（市議会で審議する案件、市議会で審議しない案件）についてわかりやすく説明した図・説明。
・鎌倉市の救急制度、対応策
・市役所の仕事紹介
・市民団体紹介
・市の財政状況一覧
・もっとよく詳しい情報を載せてもらえともっと読みます。
・最近では市の防災計画、見直し、津波対策等具体的な改善策。
・各施設で行われていることなど
・身近な問題（地域別のページ等）があると良いのでは？
・市の抱えている施策、政策、問題提起など。
・市役所に行かないひとでも市から市民に周知したいことがもれなく入っているのが広報ではないでしょうか。
・市内の学校紹介
・ごみ問題の現状
・世界遺産の申請変更内容
・地区毎の歴史やイベント情報を少し入れて欲しい

・イベント、文化芸術寺社で特別に公開される文化財等の情報
・食品の安全の確認が取れたものの情報
・高齢者関連事項相談業務についてはもう少し詳しく具体的なことを書いた方が分かりやすい。
・「北鎌倉の洞門山」とか「玉縄の業者と前市長の不法行為」とか、開発による鎌倉の崩壊の危機についても確りと書くべき。知らせねばならないことは、これからのきれいな未来だけではなく、現実の汚い鎌倉であり、現実を見据えた上で、次のビジョンを市民にも考えさせることが必要。
・月一回は、市長、職員トップの副市長の施政方針、市の現状に係る姿勢などの判る記事が欲しい。
・介護の紹介 施設 タクシーなど
・鎌倉市が推進している重要施策の解説と進捗状況について
・鎌倉市の長期ビジョンについて
・鎌倉財政、行革情報に特に関心があります。
・市が行っている政策の解説記事。市内の問題点の解説・分析記事(海岸の浸食など)。
・読者の声
・町内会自治会に何かを書かせる欄などを作ってはどうか。あるいは子ども会、老人会、その他ボランティアの会など、地域のコミュニティで活躍している団体から原稿を募集して、具体的な活動を紹介する連載コラムのようなものとしてはどうか。
・景観、まちなみに関する情報
・WEB(随時更新するので無理な注文かもしれませんが、見にくい)との連携と併存で効果が上がる様な記事。No.1173(H23.9.1号)に関しては、下水道に関する、仕組みとか統計的資料はWEBで細述し、学校教材にも使えるようにするとか
・「観光案内」
・子育てに役立つ記事・世界遺産登録に向けて市民を盛り上げる記事・
・大船駅前・深沢地区等の再開発進捗状況の記事
・放射能に関して(特に下水処理場や学校に関して、また今後の方策について)
・市民からすれば、お知らせのような各種市政情報は最低限必要。市側からすれば、最低限知っておいて欲しい施策の提供をしたい。この二者をどのように兼ね合いを持たすか。
・一般市民からの市に対する質問と、それに対する市からの回答を定期的に掲載する。
・現在の記事は催しものや募集記事などがいくつかに分かれて掲載されているので、1つのスペースに一括して掲載してもらえればいいと思う。
・市民の参加の場を設ける。意見の場の提供
・具体的なイメージが浮かばないので、最近のもので良いと感じた記事を例示します。 6月1日号 「防災特集」必要性を再確認できました。 8月15日号 「海拔マップ」深沢地区が、比較的海から離れているのに案外に低いことが判りました。
・防災関係の記事、地域ごとに、出来れば連載で
・ごみ処理問題での、焼却炉建設問題など、個人の利害と公共の利益との調整のための議論を(やらせではなく)紙面上でおこなえないか。わが町の問題でいえば、御成小の講堂保存運動についてとか。
・市内で営業している商店やホテルに対する意見欄が欲しいです。
・市の政策関連事項で立案から実施にいたる状況の説明／解説記事
・整理された”お知らせ”情報 等
・鎌倉の、世界遺産登録への進展状況(進展があった場合の)及び推進協議会の活動状況
・鎌倉駅地下道の展示ですが、広報紙のどこかにお知らせコーナーを設けて欲しい。工夫次第で利用価値を高めていただきたいです。
・鎌倉市が抱える又は直面する現在の問題をたくさん表示する
・一般市民向けの講演会や講座の開催通知は2x6センチのスポットで掲載されるが、好評であった講座の結果は記事にして市民に知らせても良いのではないか。(例、「鎌倉に津波が来たら」など)
・鎌倉の歴史や文化についてシリーズで分かりやすく解説したコラムがあってもいいと思う。

質問3 最近の紙面で、分かりにくいと感じた記事があれば教えてください。（自由回答）

・9月1日号の1面特集記事(未来をつくる下水道)

下水道課が市民のみなさんに何を訴えたいかがわかりにくい。市街化調整区域が残っている鎌倉山住宅地の一部から、広町に生活排水が流れ込んでおり、この地域にも、ようやく、数年先には、下水工事が行われると聞いています。その関連で、財源問題も含めて、この記事はそれなりに理解できますが、一般の市民が理解するには、疑問符が付きまます。

・下水道の財源で下水道料の改定が出ています。収入より支出が多いから増税しなくては仕方がないと読めます。しかし内容をみると、収入である下水道使用料が支出の維持管理費を上回っており、設備の地方債返還が大幅超過です。どうしてこのような超過になるような施設を導入したのでしょうか。設備を施設・導入した時、水道費を改定するという事は承認されているのでしょうか。

何時償還が終わるのか計画されていると思いますので、その通りに進んでいるかモニタリングされた方がいいと思います。

市民に直結するお金の話は当初の計画はどうで、結果としてどうなったかまで述べて頂いた方が良くと思います。例えばここ5年で下水道整備率がXX%上昇し99.5%になったこれにYY千万円の費用を費やした。これを100%にするためにはおおよそZZ億円かかる。(――残りは古い浄化槽の買い替え資金の援助等他の方法がいいと思いますが) 地方債の返還43億の内容はAA年度にGG設備aa億円、 BB年度にHH設備bb億円等の説明が必要に思います。

・お知らせやイベント、講座の情報。

づらづらと並べて書いてあるから読みにくい。かなりの目的意識がないと読む気にならない。

日時、場所(場所がピンとこない)、内容でうまくリストアップされていない。

単なる告知だけになっている。紙面のスペースの都合があるとは思いますが、内容を簡単に紹介する文か、補足としてHTML形式には詳しく去年の同じイベントや講座の様子だとかを載せてもいいのでは？ 内容が良く解らないと参加しようという気持ちになりにくく、かつて参加したした事のある人で固定化したり、その周りの身内だけになりかねないのでオープンに参加をしやすくする意味で。

・内容については、特にない。ただ、インフォメーションの欄は狭いページに詰め込みすぎ。もっとページ数を増やして、読みやすくすべきではないか。

ぱっと見た感じが「文字だらけ」読む気があってもやめてしまう。スペースをふんだんに使い、見出しを分かり易くして「とっつきやすい」表示、レイアウトにならないものか。

特に覚えていないが、8/15の標高マップ。大船の場合、藤沢方面からの連続性が必要。市域だけで切らないほうが良

・鎌倉市民事業評価の結果まとめ(8/15号)

詳細な結果については市ホームページをご覧下さいと書いてあり、具体的な事業の評価結果の説明を避けている印象を持つ(インターネットができない人は、詳細な結果を知らず仕舞いになってしまい、情報格差の弱者に配慮する姿勢が見られない)。

・大船駅東口第2地区市街地再開発事業(7/15号)

説明会を開く点や事業計画のフローチャートはよく理解しているが、コンパクトタウンなどのように、これまでの経緯に関する説明が不十分に思う。

・年金特集。対象となった人は何をすれば良いのかがわからない。

質問4 読みにくいと感じている点があればお教えてください。（自由回答）
・もう少し具体的、又は直接的な表現があっても良いのでは？
・文字が小さいか。
・見出しの工夫が必要。最近、県のたよりは変わった気がする。
・細かい
・イベント、講座欄。紙面が限られているので仕方がないのかもしれないが、詰め込みすぎで読みづらい。
・詰め込みすぎの印象があり、それが、肝心な情報を見落とす原因にもなっているのではないのでしょうか。広報紙の性格上致し方ないかとは思いますが、メリハリがない。（ニュースや特売広告なら「今月の目」とか、アクセントを付けられますが）
・「お知らせ」。私たち若者はそれほど苦にはならないが、お年寄りの方や近視の人にとっては、文字のポイントは小さくて見にくいのではないかと感じる。ポイントを大きくすることや、記事の配置にゆとりを持たせるなど、記事の編集の点で改善を要望する。
情報過多。月2回出しているのだから、お知らせ欄やインフォメーション欄はもっと簡潔にするべき。そういう工夫で読みやすくなる。
読みにくいというわけではありませんが、イベント・講座の情報が若干情報(字数)不足かと思います。電子ファイル化した紙面をWebに掲載するようにして、その際にはイベント・講座に関連するWebへのリンクを充実させるとよいと思います。
・4～5面の「お知らせ」が読みにくいと感じます。活字がやや小さく、ぎっしりと詰まった感じがします。
NPOなどの講座特集。有償のものと無償のものを分けるべきではないかと思います。
イベント、講座で常時開催するもの(市とどういう関係にあるのか分からないが)は、今週のお知らせ的な意味がないと思える主催者と市との関係がわからない(広報に載せる意味があるのか?) 開催場所がピンとこない(呼称が種々あり、いちいちよく考えないと分からない＝広報の中で毎回わからせる方法はないか?)
特に、「インフォメーション」のコーナーが、読みにくい。項目が多い(好ましいことだが)。 ページ数を増やしても、活字をもっと大きくして欲しい。
・民間の広告の見出しや活字が大きく、色合いなども目立ちすぎる。市の情報欄よりも字体が個性的で文字の大きさも大きく少しどぎついケースもありますので、広告主に了解していただきポイント数などの制限を。
・インフォメーションコーナーの活字の感覚が狭い。必要な情報を探すことは可能ですが、混みあっていて目にやさしくないのもう少し余白をとっては。情報も件数が多すぎるのでないでしょうか。
・広く市民向けに開催する講座などの開催通知は2x6CMのスペースでは小さ過ぎる。もっと広いスペースをとって記事にした方が良い。

質問5 現在の「広報かまくら」はタブロイド版（新聞紙の半分のサイズ）です。A4版のほうが見やすい、持ち運びしやすいというご意見がありますが、どう思われますか？	人数	
	1 今のままで良い	41
	2 変えた方が良い	11
	3 分らない	2
回答1の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズであれば枚数が増え、字のサイズも小さくなるのが想定され、却って読みづらくなると思われるため。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・眺めて必要などところを見ているので、大きい方が眺めることができます。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・紙面が大きい方が中身が充実する。新聞は一覧性が重要だと思う。A4の新聞は中身が薄い気がする。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・読み慣れているサイズ、現在特に不便を感じていない。手ごろな大きさ。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・コストでしょう。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・広報は持ち歩くものではないから。読みやすさが大事。広報紙は家で読むものだから。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・持ち歩くにしても特に不自由だと感じていないから 		
<ul style="list-style-type: none"> ・紙面を電子ファイル化してWebに掲載することを視野に入れると、家庭で印刷しやすいA4サイズに変更するほうがよいが、それをしないのなら、A4にすると、余白が増えて紙資源の無駄になると思います。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4版でもまったく変わらない。むしろ、電子化を積極的に進めるべき。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ニューズペーパーらしくていい。A4だとチラシみたい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・今までのままの大きさの方が「目に付く」ので、すぐに捨てることもなく、「今のままで良い」と思います。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・小さすぎても文字が小さくなるならば、読みにくくなるので。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの広報紙を比較しても「広報かまくら」のサイズは妥当なのではないかと思う。基本的には、費用対効果やコストの点を勘案して検討してほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・現行の版はほぼA3で、半分にすればA4になります。今の形状ではさらに半分に折っても不自由はないと思います。したがって「持ち運びのしやすさ」が理由であれば、変えるまでもないと考えます。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・紙面が大きい方が見やすい。コストダウン出来るならA4版でも可。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・記事によってはA3の1ページに近い記事があり、A4で2枚にするより見やすい。保存したいページも2枚より1枚で折った方が良い。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・鞆に入れて通勤途中で読んでいるが特に不自由を感じた事はない。 		
回答2の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・保存・ファイルしやすい、コピーしやすい 		
<ul style="list-style-type: none"> ・バックに入れて通勤時に電車等でも読めるため。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4の方が見やすく、保存やコストも有利ではないか。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすく、持ち運びに便利。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・PDF版を閲覧していますが、倍率がゴチャゴチャでわかりづらいです。今回の地図は用紙設定を合わせるべきではなかったでしょうか。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の私にとって「広報かまくら」は、全体的に活字が小さく、読みづらい。版を大きくして、活字も大きくして欲しい。 		

質問6 「広報かまくら」を見やすくするため、文字を大きくし、ページ数を増やすなど、もっと製作費用をかけることについて、どう思われますか？		人数
	1 現在の費用の中で工夫すべき	41
	2 もっと費用をかけて見やすくすべき	5
	3 その他	7
その他の意見等		
<ul style="list-style-type: none"> ・経費は少なくて良いと思います。ところでいくらかかっているのか示して下さい。そうすれば会社の新聞と比較して、高いか安いかわかると思います。 ・今のままで良いのでは。読まない人はいくら読みやすくしても読まない。読みやすくしても、読まない理由は、やっぱり読みづらいから読まないという。きりが無い。 ・内容の問題であって見た目ではない。 ・もし、紙面の関係で掲載を見送っている記事・内容が多くあるようであればページ数を増加(多くても、今の倍までくらい)しても良いと思います。 ・ページ数を少し増やすのが「製作費用がかかる」というほどの金額なのか疑問を感じる。業者に甘いのではないか。見積もりは何社にさせているのか。 ・もっと安くすべき、今はHPで見れば十分、高齢者向けには、福祉施設等で限定的に配布すればいい。 ・費用をかけて見やすくではなく、「費用をかけて内容を充実させるべき」。見やすくすることにお金をかけるべきではない。 ・文字のサイズというより、レイアウトデザインを洗練させてほしい。 ・現在の費用の中で工夫すべき ・「保存版」とか「大特集」としてその号だけ+アルファになることはよいと思うが、具体的な形を見ないと判断できない。逆に、増額費用が必要なのに使うなど無駄が出そう。内容も含めてよく検討するべきではないか？ ・費用をかけるのであれば、横浜市の増刊号のように作って欲しい。(今回は放射能についてでしたが。) ・広報かまくらの費用が他市と比べてどうなのかを知らなければコメントできません。また、定期的に発行される市の広報物が全体で何種類、どれくらいの費用をかけているのかも知らなければコメントはできません。むしろ単独で発行している担当課ごとの広報を淘汰することも考えていいと思います。 		

質問7 「広報かまくら」の印刷物をご家庭にお届けするサービス（現行）と、記事の項目だけをメールで配信する（記事の中身はホームページで見て頂く）サービスのどちらかを選べるとしたら、どちらを選びますか？		人数
	1 印刷物	43
	2 メール配信	10
(上記の他、両方の番号を選択された方が2名いらっしゃいました)		

<p>質問8 「広報かまくら」が見やすく分かりやすくなるためのアドバイス、その他のご意見がありましたらお願いします。(自由記載)</p>
<p>・私は今のままで充分見やすくわかりやすいと感じています。メッセージ性の高い広報を目指すなら「映像」や「イラスト」そして分かりやすい「たとえ話」。</p>
<p>・アナログな方法で広く周知しなければ、広報誌の意義が薄れてしまうと思います。特に高齢の方は広報誌でしか行政からの情報が受取れない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。</p>
<p>・商店街の特売情報や、イベント情報、観光情報など、もっと産業振興・地域振興に利用していただきたい。ただの行政からのお知らせとして利用するには、もったいないと思います。</p>
<p>・インターネットが普及してもやっぱり紙媒体は残してほしい。藤沢の広報誌は「おやじの会」特集が年一回ぐらいある。是非、鎌倉も支援する紙面を作してほしい。</p>
<p>・市からのお知らせが見づらいので、項目別にまとめる、類似する項目に大枠をつける等、見やすさの面で改善してほしい。</p>
<p>・広報かまくらについては平成20年度に市民意識調査が行われております。内容は①欲しい記事、②読み易さ、③意見です。とてもいい内容です。</p>
<p>・広報かまくらだけでなく、様々な媒体で告知をすればよいのでは。広報かまくらだけに 広報の多くを担わせることに無理があるかもしれない。電子版広報かまくらや、スマートフォンでよめる広報かまくら、字が大きい広報かまくら、要約版広報かまくらなどあるといいかもしれない。</p>
<p>・高齢者の多い市民の中でもメール配信は有効だと思う。</p>
<p>・小さなコラム的記事は不要。例えばまちのスケッチ、消費生活相談、フォトニュースなど。</p>
<p>・日時などの数字や場所のような固有名詞が読みやすいだけでも違うと思います。</p>
<p>・配布を業者に委託するようになってから、新年号が年末に届きます。12月のうちに「謹賀新年」の市長の挨拶を読むのは非常に白けた気持ちになります。遅くなってもかまいませんから、新年号は年明けに配布するよう徹底してもらいたいです。</p>
<p>・別紙で市内を大きく各地域別に分け、各地域専用の情報を、各地域別に配布。地域密着型広報。</p>
<p>・鎌倉市の人口構成(高齢者比率が他自治体より高い)を考えた場合、印刷物を廃止してメールだけにするというのはあり得ない選択肢。</p>
<p>・現在の紙面構成は原則そのまま踏襲しつつ、PDF化した紙面を市のWebに掲載するのがよい。 ○バックナンバーも掲載しておくことで、古い情報の検索が可能。 ○大きな文字で見たい人は、画面で文字を拡大して読むこともできる。 ○さらに、文字読み上げサービスを導入すれば、視力の落ちた高齢者にとって朗報となる。 ○印刷物は費用の観点から現状の色遣いのままとしつつ、Webに掲載する内容はフルカラーにすればよい。</p>
<p>・「見やすく分かりやすく」という評価軸に「情報を見つけやすい(検索しやすい)」という観点も加えて考えて欲しい。そうすれば、PDF化した紙面をWebに載せて本文中のキーワードを電子検索できるメリットの大きさが顕著になる。</p>
<p>・メールにリンク付の見出しを並べて、興味のある見出しをクリックすると詳しく閲覧できる。印刷用にA4PDFがダウンロードできる。パソコンが使えない人向けに公共施設に置く。障害者等向けに現状どおり配布する。以上の方式をコスト等を考慮してミックスする。</p>
<p>・従来どおり印刷物を配布の上、メールで内容を配信してほしい。</p>
<p>・たとえば、町内会自治会に何かを書かせる欄などを作ってはどうか。あるいは子ども会、老人会、その他ボランティアの会など、地域のコミュニティで活躍している団体から原稿を募集して、具体的な活動を紹介する連載コラムのようなものとしてはどうか。少なくともその地域、関連団体はしっかり読むだろう。</p>
<p>・図版の多様。記事の色分け。</p>
<p>・税金を使っている限り、真剣にやってもらいたいです。</p>
<p>・広報の性格から十分な情報を提供して、市民・読者から真の声を得ることが重要だと思う。そして記事は、広報の目的に叶うものを効率的に掲載することを優先すべきである。</p>
<p>・「広報かまくら」には鎌倉市の行財政改革をこう進めているとの情報をもっと市民に知らせるべきだと思います。紙面に加え、説明会等の開催も重要と思います。</p>
<p>・読み物ページを増やす。独自取材の分析記事を多くする。</p>
<p>・タイトルがわかりやすいレイアウトにする。(現在のレイアウトに不満があるわけではありませんが。)</p>
<p>・優秀なデザイナーの起用。</p>
<p>・1月1日号より1面特集記事をざっと振り返ってみました。それぞれの記事担当課が工夫を凝らしていますが、2月15日号の「まちの木」のちから、6月15日号の「夏に向けて一層の節電を！」7月15日号の「かまくらみんなでいざ、ごみ減量を！」などが目にとまりました。個人の関心や興味の違いがあると思いますが、いずれもその訴えるポイントが明確で判り易かったと思います。過去の編集を振り返り、例えば、市民のみなさんの印象に残った記事などを調査し、今後に反映するなど、地道なご努力を期待しています。</p>

<p>・広報という性格上、分かりやすくするには限界があります。新聞形式の一番の効果は「一覧性(ざっと見て大体何が書いてあるか、自分(わが家)に関係する記事があるかないかが瞬時に把握できる)」ではないでしょうか。ぼんやり見ている、「こんな行事」があるとか、「こんなことは市役所の***課に行けば相談に乗ってくれる」のを知った、というのが有れば良いかと思えます。あらかじめ「***」に関しては、広報に載っていることが分かっている方にはWEB(を見やすくして)を見てもらえばよいかと思えます。小型パソコンやスマホを常用する層には、記事の項目のメール配信+WEBで良いのではないのでしょうかただし、あまりにも多くのどうでも良いメールが来るので、それに埋没しない工夫が必要ですお年寄り向けには、やはり広報紙が一番良い媒体だと考えます。字が大きいと助かりますが。</p>
<p>・もし配布に経費がかかっているならば、エリア毎にピックアップ用のポストを設け、自由にピックアップできるようにしてはどうでしょうか(屋外で24時間、自由にピックアップできるようなところ)</p>
<p>・ホームページの「広報かまくら」をPDFダウンロードではなく、めくったり拡大したりがサクサクと動くような形態に変更できればGOOD。(参考)フリーペーパー「R25」のWEB。</p>
<p>・行政広報は読む市民と読まない市民とははっきり別れてしまう宿命にあると思う。一概には言えないが、リタイヤした方など時間のあるかたはよく読み、現役の方はあまり読まないと思う。役所的な難しい(広報は比較的わかりやすくなっているが)施策、一部の市民にしか興味をもたれないようなものは(この判断は非常にむづかしいのだが)、情報は最低限に留めそれ以上の情報を望む方には別途のパンフレット(多分何らかの資料はあると思う)なりインターネット情報なりでフォローすればよいのではないかと。</p>
<p>・基本的にはお金をかければよい記事が書けるかもしれないが、現在の鎌倉市の財政状況を考えると現状維持でいいのではないかと思う。</p>
<p>・「広報かまくら」を見やすくするために、「こういう催しものがあるよ」「私のお店でフェアを開くから来てほしい」といった鎌倉市民(市外在住者は除く)からの情報提供を募ったり、市民が記事に対して意見を述べられるようなシステム(いわば紙媒体とインターネットの連動)ができれば面白いのではないかと考えられる。</p>
<p>・個人的には「広報かまくら」は、市の広報としての側面だけでなく、鎌倉の観光のトピックを知る副読本のような役割を担っていると思うので、もう少し対外的に「広報かまくら」を発信ないし配布する機会を設けた方がいいのではないかと考えられる。</p>
<p>・月2回出しているのだから、お知らせ欄やインフォメーション欄はもっと簡潔にするべき。そういう工夫で読みやすくなる。情報過多。</p>
<p>・記事には公平性が重要だと思います。大船マンション質疑、「広報かまくら」(2月1日号)に未掲載。</p>
<p>・慣れの問題もあって、何かを変えれば賛否が分かれ、担当される方はご苦労されているものとお察しします。上記のとおり、私は現在の「広報」に特段の不満はありませんが、紙面構成上、読みやすさ、掲載できる情報量などからみて、「タテ組み」と「ヨコ組み」とどちらが良いのかを考える時があります。</p>
<p>・内容を見直し、記載事項をへらす。削除部分は他の方法で市民に連絡。(掲示版等)字を大きくする、図・表などを多用する。</p>
<p>・経験上、こうした発行物が人々に読まれるかどうかは、どれだけ興味を引くテーマがとりあげられているかに、かかっていると思います。開かれた市役所と市民を結ぶ書物との観点を忘れずに、発行していただけることを願っています。</p>
<p>・電子版だけでももっとカラーを増やすべきではないでしょうか。</p>
<p>・そもそも広報の意義は何かを考えるべき。市民に委託された市政について、市民に報告・周知するためのものではないのか？</p>
<p>・市民の側では市政について知りたいことがカバーされなくては満足でない</p>
<p>・ある問題が'どう企画され''どう予算化され''いつ実行し''いつ完成するのか(完成したのか)''何故実行されず、完成しないのか'等々市民の身の回りのことに関心が強いものである。</p>
<p>・地域が離れれば、しっかり解説してもらった方が良い(解説記事を載せてもよいのでは)(例えば、プラスチックごみの分別は何故複雑なのか?等でも)(予算がないといえど何でも言い訳になるような姿勢が見えるが、不要不急の土地を購入するなど理解できない。その分もっと有効に使える筈です)</p>
<p>・最近の「広報かまくら」は、特に題字が変わってから、詰め込みが多く、機関紙的になったような気がする(親しめなくなつた)。もっと、ゆとりのある「広報かまくら」に戻らないものか(以前の題字のほうが、風情があった)。年齢層によって、感じ方は異なるであろうが…。</p>

広報かまくらについて家族で話題にしたこともなく、また、記事の内容についても私以外の家族はあまり関心がないので残念です。夫も子供たち若い世代もウェブサイトで情報を入手しています。さて、記事の構成権限は広報課にあるのでしょうか。編集会議はどのような会議体ですか。つまり、編集長は広報課長ですか。現在の広報かまくらは、私の生家のある埼玉県のある某市に比べて“淡泊”な感じで、ページ数も少ないです。昔よりも活字を大きくしたので内容が薄くなったというあまり良くない評判があります。私の感想は、表紙は見せるけれど中身(市政の問題)は簡単には教えられないといった、行政に都合のよい型どおりの広報かまくらでしょうか。世界遺産登録運動の実情が物語っていますが、17万市民の問題意識を喚起する紙面づくりも重要ではないでしょうか。色合いなども含めて今後ともセンスのよい広報紙づくりをお願いします。

より関心が持てる内容、記事を少しでも増してほしい

8月15日号のような見開きのページもあってよいとおもいます。(例えば復元した栄勝寺の山門)

コストをかけずに可能であるならばメール配信を希望した過程には印刷物で配布するのを止めた方がよいと思う。配布コストの削減とペーパーレスに繋がる。また、HTML形式で同じ内容を作成しているのであれば、内容によってはせめて、英語と中国語で紹介するページがあってもいいのでは(世界に向けての広報の第一歩として)